

スーパーグローバル大学創成支援事業 中間評価結果

大 学 名	豊橋技術科学大学
整理番号	B06
構 想 名	『グローバル技術科学アーキテクト』養成キャンパスの創成

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価)	<p style="text-align: center;">S</p> <p style="text-align: center;">優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。</p>
(コメント)	
<p>本構想は、主として高等専門学校卒業生及びアジアを中心とする世界の若者に対し多文化共生の工学教育を行い、世界で活躍出来る上級技術者の養成に重点を置いた技術科学大学の創成を目指すものである。</p> <p>グローバル人材の定義が明確であり、これを実現するため、外国人留学生と日本人学生の交流を強化し、それぞれの立場、価値観で課題解決や協調性を養うための「グローバル技術科学アーキテクト養成コース」の設置や、グローバル寄宿舍「TUT グローバルハウス」の整備等を順調に進めている。</p> <p>ガバナンス面では、学長及び学務担当理事・副学長が統括する「スーパーグローバル大学創成事業推進本部」の下に「スーパーグローバル大学推進室」を設置し、米国 IT 企業出身の教授を室長に任命するなど、全学的な事業推進が強力に行われている。「英日バイリンガル授業」を当初の計画より前倒しして全学展開を行い、海外大学との交流や留学環境を整えるためのナンバリングやシラバスの英語化を進めるとともに、クォーター制の導入、海外大学とのダブル・ディグリーやジョイント・ディグリーにも積極的に取り組んでいる点は高く評価出来る。また、外国人留学生に対する日本語教育も充実しており、その要求水準も高いため、日本や日系企業で活躍する外国人の育成についても期待出来る。</p> <p>今後は、グローバル技術科学アーキテクト養成コースの志願者数を増やし、日本人学生の英語能力を向上させることが重要である。対外的に成功例をアピールし、企業からの高評価を早期に得ることにより、入学する学生のモチベーションを上げられるような好循環に繋がる取組や工夫が成されることを期待したい。</p>	